



奈良ドリーマーズが指導するバレーボール教室が開催され、町スポーツ少年団員や町内在住の児童ら計 26 人が参加しました。教室では、レシーブやサーブの方法などバレーボールの技術や練習方法について熱い指導がなされました。

5/30

奈良ドリーマーズバレーボール教室
選手による熱い指導



宮古自治会で、住民相互の親睦をさらに深めることを目的に「健康ウォーク（遊びにおいで公民館へ）」が開催されました。当日は、地域住民が消防職員による防災講座を受けた後、宮古池周辺をウォーキングしました。午後からは、子どもたちは金魚すくいなどの催しを楽しみ、大人たちは農産物販売などで交流を深めました。地域全体が笑顔に包まれる、にぎやかな一日となりました。

5/9

宮古公民館で「健康ウォーク」が開催
住民130人が参加



長島鋳物株式会社より「タワラモトン」をモチーフにしたデザインマンホール蓋を寄贈いただきました。「ともぼ!たわらもと」で人気の巨大トランポリン「ふわふわドーム」で飛び跳ねるタワラモトンの姿が描かれ、同施設噴水広場の近くに設置されています。

6/8

「タワラモトンマンホール蓋」寄贈
公園のシンボルが誕生



有志の会「竹和会」から寄附をいただいたことに対し、高江町長から感謝状が贈呈されました。いただいた寄附は、本町の子育て支援などに活用させていただきます。

6/11

「竹和会」が田原本町へ寄附
本町の子育て支援を応援



ロートフィールド奈良で奈良クラブのホームゲームが開催されました。この日は「磯城郡三町町民デー」として実施され、三町の町長も観戦に訪れました。三町の町民を対象に無料招待が行われ、会場には約 2000 人のサポーターが来場。熱い声援で試合を盛り上げました。

5/23

奈良クラブVSカタレ富山
磯城郡三町町民デー

町長 メッセージ

Vol.26



町長活動記録

たわらもとええ道プロジェクト！

「道が悪い！」という御指摘をいただきます。田原本町にとって「道」は、生活を支える土台であると同時に、災害時など緊急時には命を守る生命線です。これを踏まえ、令和7年度から「ええ道プロジェクト」を立ち上げ、前年度比1.7倍の予算を確保し、5ヵ年計画で重点的・計画的な道路修繕を進めているところであり、「最近道が良くなった」とのお声もいただく機会が増えました。

なお、町内には363本もの橋梁が架かっておりますが、これらの修繕は順調に進んでおり、事後的対応が必要な橋梁は認められず、早期修繕により費用を抑えていく「予防保全」に移行しております（これは全国的にもまれで、誇るべきことです）。「道」を新しく作ることに比して維持修繕は地味な取組ですが、今ある日常をお守りするために予算を投じて取り組んでまいります（2～3ページ）。

新たな取組、続々！

3月にオープンした「ともぱ！たわら

もと」は、休日には1500人以上が訪れる場所となり、園内休憩所では、老人クラブの皆さんがカラオケを楽しんでおられたり、子どもたちが遊具で遊んでいたりと、多世代の笑顔が生まれる空間となっております。第二弾整備「みんなで育てる公園プロジェクト」（8ページ）などを通じて、更に世代の壁を溶かした「ごちゃまぜ」の空間を作ることができるよう努めてまいります。6月にオープンした「こども誰でも通園保育所（北幼稚園内）」（本ページ下部）は数多くの利用者から好評をいただいております。また、中・高・若者世代がふらっと立ち寄れる場所を目指して、駅前トモルテたわらもと2階に「ユーススペース」を設置しました（8ページ）。実証的な取組ではありますが、若者世代等の居場所としての機能のほか、必要あれば支援にもつなげていく福祉的な機能も併せもちます。

多くの人にとって「居場所と出番」のあるまちに向けて一歩一歩進めてまいります。

最新の町行政情報をお届け

町政トピックス

こども誰でも通園保育所が開所



「すべてのこどもの育ちの応援と子育て家庭への支援強化」を目的として、町立北幼稚園の施設内に新たに「田原本町立だれでも通園保育所」を5月19日に開設しました。

誰でも通園制度…保育園などに通っていない生後6ヵ月から3歳未満の子どもたちに集団生活の機会を提供することで、同年代の子ども同士での触れ合いなど、家庭だけでは得られないさまざまな経験を通じて、こどものすこやかな成長を支える制度

たわらもと ReBORN プロジェクト初の投資実行 バイオものづくりの一大拠点化を目指す



スタートアップ支援プログラム「たわらもと ReBORN プロジェクト」に紐づく官民連携ファンドは、本プロジェクトの採択企業(株) ANSeeN に対し、初の投資（出資額：3000万円）を実行することを決定しました。本投資は、同社の田原本町内における拠点設立を支援し、町が掲げる「バイオものづくり」を核とした産業クラスター形成を加速させるものです。(株) ANSeeN…放射線を使用した超高感度センサー技術により病巣を特定し「病気を見つけて体を切らずにその場で即時に治す」という、健康診断がそのまま治療になるような次世代医療の実現を目指しています。